

# 聞いてもらえよかった

## 中央社保協 介護・認知症の電話相談

中央社会保険推進協  
議会は、介護の日であ  
る11日、「介護・認知  
症なんでも電話相談」  
を開催しました。全国  
13都道府県社保協が電  
話を設置し、深刻な相  
談に答えました。東京  
では25人のケアマネジ

ヤーらが対応。73件の  
電話相談に答えまし  
た。今年は「認知症の  
人と家族の会」が相談  
員として参加。東京、  
千葉、愛知での電話相  
談員になりました。

「介護していた妻が  
昨年自殺。自分も自殺  
未遂したが死にきれな  
い。一人暮らしが不安  
だけれど自分から社会  
への一歩が出ない」  
(香川)の悩みや、「88  
歳の義父を10年以上ひ  
とりで介護している。  
義父もヘルパーを入れ  
たがらない。月1回の

ケアマネの訪問に話を  
聞いてもらっているが  
不安でいっぱい。話を  
聞いてもらえてよかつ  
た」(九州)などの感想  
がありました。

「父が亡くなってか  
ら母の認知症がひどく  
なった」など認知症の  
相談も多くありまし  
た。「来年4月から今  
まで通りのサービスを  
介護保険から受けられ  
るのか」の不安な声も  
多く寄せられました。

いっせい地方選挙後  
に狙われている集团的  
自衛権行使のための法  
改定もにらんで、来年  
春には国民的共同の大  
規模な集会、憲法共同  
センターの全国交流会  
も検討していくことと  
なりました。

運営委員会には、全  
労連、全日本医連、  
全商連、新日本婦人の  
会、憲法会議、自由法  
曹団、日本共産党の代  
表が参加しました。